

1 同盟及聯合國ト十國トノセーヴル條約軍事条項等実施並希土両國間調停問題ニ関スル件 **五九**

四六

英國側ノ猜疑ヲ招クコトアルヤモ計リ難キニ付今回ヘ出發
見合ハサンタン
英仏ヘ転電アリタシ

五九 十一月二十日 在仏國石井大使 **内田外務大臣宛** (電報)

希士間ノ調停問題ニ關シテハ我方ハ傍観シ可

然眞實申ノ件

(十一月三十一日接受)

内田公使発閣下宛第一〇八号ニ関シ本件ハ希臘ヨリ英仏伊

条約ノ改訂ニアリトセバ我ハ當然參加スベキモ仏國當局ノ
本使ニ語レル所ハ往電第一七〇九号ノ如ク希臘首相ノ懇願
ニ依リ調停ノ余地アリヤ否ヤヲ見ルニアリトセバ我ハ傍観シテ然ル可キ儀ト思考セザルヲ得ズ
在英大使ヘ転電セリ

君府ヘ転電セリ

第一七八七号

内田公使発閣下宛第一〇八号ニ関シ本件ハ希臘ヨリ英仏伊

事項III 国際聯盟理事會ニ關スル件 (第十一回乃至第十五回)

KO 11月四日 在仏國石井大使 **内田外務大臣宛** (電報)

第十一回聯盟理事會議題及報知者通報ノ件

(11月六日接收)

次回聯盟理事會(11月11日)「シテネーク」リ於く
開催ヤハルグク議題及報告者左ノ通り

1. Committees to be set up as result of Assembly
resolutions.

a. Appointment of Committee on Amendments to
the Covenant (Spanish representative).

b. Appointment of Committee on Article 18 of the
Covenant (Italian).

c. Appointment of Committee on Blockade (Italian).

d. Appointment of Committee to Examine the Work
of the Secretariat and International Labour Office
(Chinese).

e. Consideration of Assembly Resolutions on reduc-

11 國際聯盟理事會ニ關スル件 (第十五回乃至第十四回) KO

tion of armaments and kindred questions (French).

f. Appointment of Committee on Opium Traffic
(Chinese).

g. Appointment of Commission on Deported Women
and Children in Turkey and neighbouring Countries
(Italian).

2. Questions arising out of Resolutions.

a. Declaration concerning children in countries im-
poverished by war (British).

b. Consideration of the Assembly Resolutions on
the traffic in women and children (British).

c. Consideration of the Assembly Resolutions on
intellectual work (Britain).

d. Publicity of council proceedings (Belgian).

e. Appointment of auditors of accounts for the
period ending December 31, 1920 (Chinese).

f. Armenian question (Spanish).

3. Other questions arising out of current work.

a. Approval of terms of mandates.

(a) mandates (Belgian).

(b) mandates (Japanese).

b. Appointment of the Mandates Commission (Belgian).

c. Polish-Lithuanian dispute, latest developments (French).

d. Polish complaint regarding the expulsion of Jews from Austria (British).

e. Final approval of the Constitution of the Free City of Danzig (Japanese).

f. Manufacture of rifles at Danzig (Japanese).

g. The Constitution of Danzig (Japanese).

h. Appointment of four members of the Saar Basin Governing Commission (Chinese).

i. Consideration of the report of the Finance Section of the Provisional Economic and Financial Committee (French).

j. Petition with regard to the position of the inhabitants of Eastern Galicia (Belgian).

4. Progress reports by the Secretary General on,

a. Åland Islands question

b. Minorities in Finland and Albania

c. Typhus

d. Permanent Court of International Justice

e. Prisoners of war.

六一 一月四日 在仏國石井大使^{ムニ} 内田外務大臣宛 (電報)

聯盟關係諮詢委員会日本邦委員參加方ニ關シ議見具申ノ件

第一六八號

(1月6日接致)

往電第一四七号來ル聯盟理事会ノ議題レナルバ諸委員会ノ帝國委員參加ノ件ニ關シ一方館員ヲ「ヤネヴア」ニ派シテ情報ヲ求メシメ他方「ムラヤンヌ」ノ來日ヲ機トシ種々意見交換ノ結果ヲ綜合シ本使氣付キノ点ト共ニ不取敢左ニ申進ズ
一、規約改正委員会委員ニ關シ仏國ハ「チャーチニアリ」

ヲ推シ其他諸國ノ意図ハ未だ判明セザルモ事務局レシテハ右ニ匹敵スル政治家ヲ希望シ居ルヤノ情報ニ接シタルヲ以テ本邦特別ノ事情ト鳩山博士ノ極メテ適任者タル事ヲ説明シタルニ「ドランコ」モ同博士参加方ニ極力運動スペキ且フ約スルニ至リタリ然ルニ同委員会ノ開始期ハ「ムラヤンヌ」ノ意見ニ依ルモ四月始ナルニ付テハ貴電第九三三号ノ通リ鳩山博士ニ於テ三月上旬出発ストセベ米國經由トスルモ其来着ハ四月中旬以後トナルベク(脱?)從テ最初一、二月ノ委員会ニ出席スル事極メテ便宜且ツ必要ニ付同博士ニ於テ三月末頃迄ニ来着シ居ル事極メテ望マシ就チハ今一応大學當局ト御交渉ノ上同博士渡航期線上方御配慮相成度シ

尚北欧三国其他ノ規約改正案乃至帝國側ヨリ提出スベキ既成案ニ關シテハ時々館員ヲ会合シ折角研究中ニシテソノ中当方氣付キノ点具報ノ筈ナルガ當方ニ於テ事務局ヘ我カ提案提出準備ノ都合モアルニ付本省御考究ノ結果ハ成ルベク三月中旬以前當方ヘ御通報相成度シ

一一、委任統治委員会及經濟封鎖委員会ニ關シテモ事務局ト交渉ノ結果本邦委員ヲ参加セシメ得ベキハ殆ント疑無ク而

II、國際聯盟理事會ニ關スル件(第十一回乃至第十五回)

六一

四、其他ノ委員会ニ對シテハ別ニ本邦ヨリ加入ノ必要無カ考ス

四九

ルベシト思考スルモ唯阿片委員會ハ総会決議中既ニ日本委員ノ加入ヲ予見シ来ル理事會ニ於テ右決議ヲ採用スル時ハ直ニ日本ニ対シ右委員派遣方ヲ申送ルニ至ルベク事務局側ノ予測ニ依レバ本委員會モ四月始ヨリ会合スルニ至ルベシトノ事ナレハ本件委員ニ関シテモ亦至急御詮議ヲ請フ事務局員ノ内話ニ依レバ支那カ本件ニ重ヲ置ケルハ云フ迄モ無ク蘭國ヨリモ有力ナル委員ヲ派遣スル見込ナリト云フ在英大使ヘ転電セリ

六二 二月五日 在仏國石井大使（ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

アルメニア問題ニ関スル米國國務長官覺書ノ件

第一七二号 （二月七日接受）

米國國務卿ハ在白米國公使ヲシテ一月二十二日付ヲ以テ「イーマンス」宛「アルメニア」問題ニ關スル覺書ヲ転達セシメタル趣ヲ以テ聯盟事務總長ハ右覺書写ヲ送付シ来リタルガ同覺書中國務卿ハ米大統領ノ意見トシテ「アルメニア」問題ヲ以テ大露國問題ノ一方面ニ過ギズトシ露西亞問題解決ノ為武力ヲ用ユルノ非ヲ称ヘ目下露國內部ニハ内乱ト称スル程ノ事無ク一般ニ戰乱ニ飽キ居ルモ邊境新興ノ小

辺境ニ兵ノ來ラザルハ勞農政府自カラ之ヲ欲セザルガ為ナリト云フヲ得ベシト述べ若理事會ニ代表者ヲ有スル諸大國ニシテ右ト同意見且道徳上外交上援助ヲ与フベキ保証アルニ於テハ大統領ハ「アルメニア」問題執掌ノ為直チニ「モルゲンゾー」（ゼネヴァ）往電第八二号（註）参照ノ出発ヲ命ズベシト結ビ居レリ

在英、米大使ヘ転電セリ

註 日本外交文書大正九年第三冊上卷一六九文書（一四六頁）

六三 二月七日 在仏國石井大使（ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

アルメニア問題ガ理事會ノ議題トナリタルニ

付請訓ノ件

第一八三号 （二月八日接受）

「アルメニア」問題ニ関連シ米國大統領ノ露西亞問題ニ対スル態度ヲ述べタル米國國務卿覺書要領ハ往電第一七二号所報ノ通リ同覺書ハ今回来ル理事會ノ議題ニ上程セラルニ至リタルニ依リ右討議ニ際シ心得置ク可キ事予メ御回示置キ相成度シ

六四 二月二十二日 在仏國石井大使（ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

二月二十一日巴里ニ開催ノ第十二回聯盟理事

諸問題ニ付討議及決定ノ件

第二六四号 （二月二十四日接受）

二月二十一日仏國上院議長官舍ニ於テ第十二回聯盟理事會開会午前午後ノ二會議ニ於テ（一）理事會公開問題（二）「バロセロナ」交通會議ニ独逸其他ヲ招請ノ件（三）「ザール」行政委員會（四）交通會議ニ獨逸其他ヲ招請ノ件（五）「ザール」行政委員會（六）國際聯盟理事會ニ闕スル件（第十二回乃至第十五回）

諸國ハ勞農軍ノ進撃ニ藉口シテ復員セズ中央ト邊境ト互ニ猜疑嫉視セルコト露國邊境地方ニ平和ノ到ラザル所以ナリ然レ共邊境小諸國ハ大国ノ援助ヲ予期セズシテ大露國ヲ攻撃セント敢テスルモノニ非ズ故ニ大統領ハ聯合國ニ於テ自ラ不幸ナル露國ノ現状ヲ利用シ其領土ヲ侵蝕セザルト共ニ他ノ如何ナル國ニモ之ヲ許サザル旨公然約束スルニ非ザレバ露國邊境ノ平和ハ断ジテ之ヲ望ム可カラザル事ヲ信ズ即チ右約束ニ依リ諸大国ハ現ニ露國ノ実權ヲ掌握スルモノニ對シ外部ヨリノ侵迫無キ所以ヲ明カニスルヲ得ベク從ツテ辺境ニ兵ノ來ラザルハ勞農政府自カラ之ヲ欲セザルガ為ナリト云フヲ得ベシト述べ若理事會ニ代表者ヲ有スル諸大國ニシテ右ト同意見且道徳上外交上援助ヲ与フベキ保証アルニ於テハ大統領ハ「アルメニア」問題執掌ノ為直チニ「モルゲンゾー」（ゼネヴァ）往電第八二号（註）参照ノ出発ヲ命ズベシト結ビ居レリ

在英、米大使ヘ転電セリ

註 日本外交文書大正九年第三冊上卷一六九文書（一四六頁）

改正委員左ノ通り

日 鳩山、英「バルフォア」（議長）、仏「ヴィヴィア

ニ」、伊「シャローヤ」、「チエッコスロヴァッキア」「ベ

ネス」、「ウルグアイ」、「ブランコ」、諾威「バイヒマン」、

西班牙「フェルナンデス、プリダ」、支那 顧維鈞、白耳

義及玖馬ヨリ各一名

(六)ニ闕シ委員顔触左ノ通り

英「セシル、ハースト」、仏「フローマージョ」、伊「シ

ヤローヤ」（議長）、和蘭「ストルイケン」、白耳義「ブ

ールゲン」及伯刺西爾各一名

(八)ニ闕シテハ総会ノ決議ニテ指定セル各國代表者（顔触未定）ノ外報告者顧維鈞ノ推薦ニ依リ「ハミルトン、ライ

ト」夫人（米國）「ジヨルダン」（元駐支英國公使）及

「ブルニエ」（馬耳塞商業會議所会頭）ヲ「アッセツソ

ール」ニ選定ス本委員會開会期日ハ四月一日トスルノ原

案ナリシヲ本使ノ提議ニ基キ五月一日ニ延期シタルモノ

ナルニ依リ本件帝國委員御差遣方至急御取計相成タク尚

本委員會及(五)並(六)ノ委員會ハ各六月一日報告議了ノ予定

ナリ

六五 二月二十四日 在仏國石井大使ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

二月二十二日及同二十三日ノ理事会会合ニ於

テ議セラレタル諸問題ニ付報告ノ件

第二七九号

(一)月二十六日接受)

二十二日午前及午後ノ理事会ニ於テ(一)「オイペン」「マルメデー」問題(二)經濟封鎖委員任命ノ件(三)婦人小兒売買ニ関スル総会決議審査ノ件(四)土耳其及隣接地方ニ於ケル誘拐セラレタル婦人小兒取調委員任命ノ件(五)希臘ニ於ケル「ブルガリア」俘虜ニ闕スル件(六)委任統治委員任命ノ件(七)別ニ報告ノ委任統治条項決定延期ニ闕スル米國政府ノ要求ニ対スル回答ノ件(八)A式及B式委任統治条項ニ闕スル件ヲ審議ンタリ右ノ中特ニ電報スヘキモノ左ノ通り

(二)ニ闕シ伊太利理事ノ報告中ニ本委員會ノ事業終了前事務総長ハ各國政府ニ書翰ヲ發シ第十六条ノ義務実行ノ為ニ各國政府ハ如何ナル法令發布ノ權能ヲ有シ又ハ此ノ權能ヲ得ンカ為如何ナル法案ヲ提出セントスルヤラ問合スヘシトノ一項アリ右ハ本問題ノ解決以前ニ於テ第十六条適用ノ必要

起リタル場合ニ處スルノ余地ヲ予メ考慮シ置クノ底意ナル
處「バルフォア」ハ經濟封鎖ハ通商等ノ關係ヲ考慮スルト
同時ニ又軍事問題ト共ニ海軍ノ關係ヲモ考慮スルヲ要ス此
ノ複雜ナル問題ヲ考查スルコトガ正ニ經濟封鎖委員會ノ任
務タラザルベカラズト述べ結局事務總長各聯盟國ニ對シ國
際封鎖委員會研究ノ参考ノ為メ規約第十六条適用上現ニ各
國政府ノ有スル權能其ノ他經濟封鎖ニ闕スル総会決議ノ實
施ノ為有益ト認ムル諸種ノ情報ヲ供給セゾコトヲ求メシム
ルコトニ決シ其ノ委員ニハ各常任理事國及「キュバ」西班牙、諾威並瑞西政府ニ於テ各一名ヲ任命スルコトヲ求ムルニ決ス

(四)ニ闕シ「ゴーリ」夫人（仏）及英、米ヨリ各一名ノ委員ヲ任命スルニ決ス

(六)ニ闕シ「ボー」（仏）「テオドリ」（伊）「ファン、レス」（和蘭）「アンドロード」（葡萄牙）「ビュッゲ」夫人（瑞典）日英及白耳義ヨリ各一名其ノ他米、波蘭、知恵古須路婆ノ中ヨリ一名ヲ追テ任命スルコトニ決ス

(八)ニ闕シ「バルフォア」ヨリA式「マンダー」關係事項ハ目下「チャーチル」ノ管轄ニ移シ同氏ニ於テ殖民文武官憲

三 國際聯盟理事會ニ闕スル件（第十二回乃至第十五回）

六六

六六 二月二十六日 在仏國石井大使ヨリ

第一回聯盟總會軍備制限問題分科會報告ニ闕

スル總會ノ決議國際司法裁判所ノ現状ニ闕ス

ル事務總長ノ報告等ヲ理事會ニ於テ審議ノ件

五三

第二十九一號 (二月二十八日接受)

シムルコトトシ

二十四日午前及午後ノ会合ニ於テ(+)波蘭國「リスマニア」紛争ノ件ヲ議シ二十五日午前及午後ノ会合ニ於テ(+)軍備制限問題ニ閔スル総会ノ決議審査ノ件(+)墮地利ノ猶太人放逐ニ對スル波蘭ノ抗議ニ閔スル件(+)「アルメニア」問題(+)「オーランド」島問題ノ現情ニ閔スル事務總長ノ報告ノ件(+)國際司法裁判所ノ現情ニ閔スル事務總長ノ報告ノ件(+)委任統治委員会ニ米国人加入ノ件(+)規約改正委員会ニ白国委員加入ノ件(+)審議シタリ其ノ中特ニ電報ス可キモノ左ノ通り

(+) (甲) 「ゼネヴァ」往電第一三七号決議第一ニ閔シ武器取引協約ノ迅速且ツ各國ノ批准ヲ実現センガ為協約調印国ニ対シ他ノ調印国ノ批准ヲ停止条件トシテ該協約ヲ批准スル様又非調印国ニ対シテハ成ル可ク速力ニ加盟スル様事務總長ヲシテ勸誘状ヲ発送セシムルコト又該協約ニ予見セル國際事務局ノ任務ヲ當分ノ間 在「ブラッセル」國際事務局ヲシテ担当セシムル様白耳義政府ノ承諾ヲ求ムルコトニ決シ

(乙) 同往電決議第二ニ閔シ軍事委員会ヲシテ民業ニ依ル兵器彈薬等ノ製造取締問題ヲ審議シ理事会ニ報告ヲ提出セ

(丙) 同往電決議第三(+)ニ閔シ「バルフォア」ヨリ「ゼネヴァ」總會ニ於テ調製ノ質問書ノ未ダ各國政府ニ發送セラレザルヲ訝リタルニ対シ本使ヨリ「ゼネヴァ」理事會ノ折右質問書ガ實際的ナラザリシ為軍事委員會自身ノ希望ニ基キ發送中止トナリ居ル旨ヲ説明セル處他國理事ノ之ニ閔スル記憶区々ニ岐レテ判明セズ結局本件ニ閔シテ軍事委員會ニ問ヒ合スコトトナレリ

同決議第三(+)ニ閔シ「バルフォア」ヨリ「ゼネヴァ」總會當時軍備制限問題委員會ニ於ケル英國代表者「フィッシュヤー」ノ意見ナリトテ軍備制限ノ有効ナル第一歩ハ各國軍事費審查並ニ其ノ比例的削減ニ有リト述べ往電第二八六号「ブルジョア」案ノ委員會ガ果シテ此ノ目的ニ叶フヤヲ問ヒタルニ対シ「ブルジョア」ヨリ各國軍事費計上ノ方法區區ニ分レテ慎重ノ調査ヲ要スルコトコソ財政經濟ノ専門家ヲ包含スル右委員會ノ組織ヲ提案スルニ至リタル所以ナリトテ右構成(脱)時ハ軍事委員會ト円滑ナル連絡ヲ期シ得ルノミナラズ既成ノ委員會ヲ利用スルモノナルヲ以テ費用ノ節減ヲ期シ得可シト弁護シ「ブルジョア」ノ提案通過シ

タル次第ナリ

同決議第三(+)ニ閔シ「バルフォア」ヨリ聯盟國相互間ニ軍事報道ノ真偽ヲ審査スルハ事重大ニシテ慎重ノ考慮ヲ要スニ決ス

同決議第三(+)ニ閔シ「バルフォア」ヨリ聯盟國相互間ニ軍事報道ノ真偽ヲ審査スルハ事重大ニシテ慎重ノ考慮ヲ要スト注意シ「ブルジョア」ヨリ本審査權ノ獲得ニハ規約ノ改正ヲ必要トシ容易ニ實現ヲ期シ難シ今此ノ難問ノ解決ヲ前提トシテ軍事委員會ニ報道審査手続ヲ考究セシムルモ實際上差支ナカル可シト述べ其ノ通り決定最後ニ「ゼネヴァ」往電第一五九号(註2)ノ軍事費予算精算ニ閔スル總會ノ希望條項ニ關シ「ブルジョア」ノ原案ニ依レバ事務總長ヲシテ之ヲ各聯盟國ニ通達シ五月一日迄ニ右ニ対スル各國ノ意向ニ付回答ヲ求メシムルコトトナリ居リシニ対シ本使ヨリ本件ヲ軍事委員會ニ附議センコトヲ主張シタルモ「ブルジョア」ハ「ゼネヴァ」總會ニ於テ本希望案ニ反対シタル自國ノ提案ナレバトテ之ニ同意センコトヲ求メ他國理事又總會ノ希望條項ヲ単ニ通過スルニ止マリ各國ハ之ニ回答スル訳ニアラズトテ「ブルジョア」ニ和シタルヲ以テ本使モ主張ヲ固

三 國際聯盟理事會ニ閔スル件(第十二回乃至第十五回) 六六

來ルアリ「ベルフォア」ノ提議ニ依リ暫ク觀望スルコトトナリ白國理事ハ「チェック」人ヲ推薦シタルモ仏國ハ極力

波蘭人ヲ推举シ遂ニ決定ヲ延期シタル次第ナルガ本日ノ理

事會ニ於テ米国人「フォルブス」（往電第二二六号参照）ヲ採ル可キコトハ已ニ以前ヨリ決定シ居タル次第ナリトノ故ヲ以テ同人ヲ採用スルコトニ決ス其ノ他英白モ已ニ決定シ之ガ決定ヲ見ザルハ日本ノミトナレルニ付日本委員氏名大至急御電報アリタシ

(b)ニ関シ二十一日ノ理事會ニ於テ白國理事ハ過般「ゼネヴァ」總會ニ於テ支那ガ白國ト理事会入選ヲ争ヒタルヲ含ミ居ルモノノ如ク本委員會ニ日本以外支那ヲ入ルハ東洋ノミ多キニ過グトノロ実ノ下ニ支那ノ加入ニ反対シタルガ本日ノ理事會ニ於テ白國ノ割込ミヲ主張シ遂ニ其ノ目的ヲ達セリ之ニテ本件委員會ハ十二名ノ代表者ヲ網羅スルコトトナレリ

在歐米各大使ヘ転電セリ

註 1 日本外交文書大正九年第三冊ト卷六六三文書ノ別電參看
2 同右六六四文書參看

○四条波蘭ノ外部代表權ト矛盾スルヤノ觀アリトテ「外ニ向ヒテ」ノ字句ヲ削除スル事ヲ決議セリ

六八 三月九日 在仏國石井大使宛（電報）

二月一日二日及三日ノ理事會ニ於テ露國避難

民救濟知的労働財政經濟仮委員會報告「リ」

波紛争常設軍事諮詢委員會等ノ諸問題ヲ議ハ

タル件

第三六三号

三月一日ノ理事會ニ於テ

(1)歐州ニ散在スル露國避難民救濟問題ニ付聯盟ノ援助ヲ求メ来レル Comité international de la Croix Rouge ノ申出ニ基キイ避難民ノ法律上ノ地位ヲ確定スル為メ聯盟ニ於テ

一ノ機關ヲ創設シ各國政府ノ「ディスピジション」ニ置クコト(2)避難民婦國ノ問題ハ勞農政府ト交渉ノ余地ナキヲ以テ暫ク措キ避難民就職ノ問題ニ付各國ノ取リソツアル方法ニ關シ書記局ニ於テ報道ヲ蒐集シ且之ヲ各國政府ヘ通報スルノムニ Ligue des Sociétés de Croix Rouge 及 Comité international de la Croix Rouge ハ一團体ヲシテ避難民

二 國際聯盟理事會ニ閲スル件（第十二回乃至第五回） 六八

六七 三月三日 在仏國石井大使（ヨリ）
内田外務大臣宛（電報）

ダンチッヒ問題討議ノ件

第三一七号

(三月五日接受)

二月二十六日ノ理事會ニ於テ(1)「ダンチッヒ」港湾水路局長ニ瑞西人レイニヒ (Reynier) ラ任命スルコト(1)同市ニ於ケル武器製造ニ関シ新ナル注文ノ引受ヲ禁ズルコト

(II)墨西哥（及倫敦會議ノ結果ニ依リ土耳其）ヲ「ベルセロナ」交通會議ニ招致スルコト等ヲ決議セリ

又二十八日ノ理事會ハ拙電第三二一號「マンデート」ニ對スル米國大使宛回答案ヲ可決シ「ダンチッヒ」憲法草案中行政權ノ首腦タルベキ上院ガ二十名ノ議員ヨリ成リ中八名（議長ヲ含ム）ハ十二年ノ任期ヲ有シ議會ニ對シテモ責任ヲ負ハザル組織トナリ居ル處一ノ点修正ノ必要ニ付在「ダンチッヒ」高級委員ヨリ意見開示ノ次第モアリタルニ付本件ハ一應自由市議會ノ討議ニ付シ結果一ヶ月以内ニ高級委員巡回報スベク高級委員ハ右ニ付詳細理事会ニ報告スベキコト並該草案第四十一条「上院ハ外ニ向ヒテ同市ヲ代表ス」トアル「レダクシヨン」ハ「ヴォルサイユ」條約第一

救濟ノ為メ共通機関ヲ設ケシムルコトトナル右ノ趣各國政府並前記赤十字二團体ニ通告スルコトニ決ス

①智的労働ニ関シ Bureau international d'Assistance publique et privée ヲ聯盟ノ配下ニ置クコトニ付書記局ニ於テ好意ノ考慮ヲ加フルコト國際的思潮宣傳ノ為メ Bureau d'éducation ヲ新設スルコト並 L'Union des Associations internationales ノ希望ニ基キ智的労働ノ為ニ聯盟ニ於テ國際會議ヲ開催スルコトニ付書記局ヲシテ次回ニ報告ヲ提出セシムルコトヲ決議ス

②壞地利ノ「ガリシャ」猶太人追放問題ニ閲シ理事會ノ委任ニ依リ「ベルフォア」ガ特ニ壞地利及波蘭代表者ト会談ノ結果壞太利ニ追放ノ權利アルコトヲ認ムルモ両國間ニ充分同意的解決ヲ遂グヘキ當事國代表者ノ同意ヲ得タリ

三月二日ノ理事會ニ於テ
(1)總會ノ決議（「ゼネヴァ」発電第一七一號）ニ從ヒ(1)一九〇七年羅馬協約調印國ニ對シ同協約所定ノ衛生事務局 (L'Office international d'Hygiène) 敷造方ニ閲シ其ノ同意ヲ求ムルカニ即臨時專門委員會 (Commission technique) ハ常任理事國代表者羅馬協約衛生事務局代表者五名及赤十

字同盟（Ligue de la Croix Rouge）國際勞働事務局代表者各一名ヨリ構成サルベキコト（前記専門委員構成ノ場合ハ各一名ヨリ構成サルベキコト）
Secretaire medical ヲ任命スベキコト

①聯盟經費ノ分担ニ閔シ總会ノ決議ニ依リ構成サレタル委員会ニ於テ一致ノ意見ニ到達セズ其ノ儘一応ノ報告アリタルガ更ニ該委員会ヲシテ審議ノ上結果三月末日迄ニ各國政府ニ通報シ得ル様報告ヲ提示セシムルコト

②財政經濟仮委員会ヨリ（イ）國際信用ニ閔スル問題ハ今尚研究中ニ屬スルモ一応委員会ノ仮決定ヲ各國政府ニ報告シ得ベキコト（ロ）壞太利經濟問題ハ研究中ニ屬スルコト（ハ）一九一九年海牙ニ於テ論セラレタル手形法協定ニ閔スル問題ヲ再開スル意向アリヤニ付各國政府ノ意向ヲ問合スベキコト（二）總会ノ決議セル諮詢委員会（Commission Consultative）構成ノ為本年末又ハ来春一ノ國際會議ヲ開催スベキコト等報告アリ採用セラル

（四）「リスマニア」波蘭紛争ニ閔シ今期理事會中屢々議題ニ上リ「ブルジョア」ノ經過報告同地行政委員ノ報告係争国代表ノ説明等アリタルカ結局両当事國トモ聯盟派遣委員会ノ投票条件ヲ受諾セス且波蘭側ハ現状ノ儘人民投票ヲ行ハ

ンコトヲ希望スルモ「リスマニア」ハ人民投票ヨリモ寧ロ仲裁ヲ希望スルコト明白トナリタルニ依リ理事會ハ客年十月二十八日「プラッセル」ノ決議ヲ翻ヘシ「イーマンス」議長ノ許ニ兩國代表ヲ「プラッセル」ニ招致シ商議ノ上一ヶ月以内ニ本件係争地方ノ領土問題並軍事經濟ニ閔スル問題ヲ解決スルコトナレリ而シテ右商議ノ条件トシテ（イ）波蘭政府ハ「ゼリコウスキ」軍ヲ其ノ制御ノ下ニ置キ且其ノ兵力ヲ一万五千以内ニ減スベキコト（ロ）兩当事國ハ係争地占領軍ヲ増加セサルコト（ハ）「リスマニア」ハ其ノ兵力ヲ平時ノ配置ニ復シ境界線上ノ兵力ニ二師団ヲ超エシメサルコト（二）「リスマニア」政府ハ係争地住民ニ糧食ヲ供給スベク波蘭ハ自國兵ノ糧食ヲ補給シ徵發ヲナササルコト（ハ）行政組織ハ現状ノ儘トシ商議結了迄選挙ヲ行ハサルコト（イ）聯盟軍事委員ハ現地ニ滯在シ食物供給並軍事条件ノ施行ヲ監視スルコトナシ右ノ条件ニ對シ両当事國ヲシテ十日以内ニ諾否ノ回答ヲナサシムルコトナセリ

三日午前ノ会合ニ於テ

③常設軍事諮詢委員会（Commission Permanente Consultative）ヨリ（イ）委員会内部ノ執務手続ニ閔スル件（ロ）Bureau

hydro-graphique international 創設ニ閔スル件（イ）Commission des recherches dans les régions supérieures de l'atmosphère ヲ閔スル件（II）往電第一八六号軍備縮少ニ閔スル臨時委員会員タルベキ六名ノ常設軍事委員会側代表者ハ

伯刺西爾、英帝國、西班牙、仏蘭西、伊太利、日本ノ軍事代表者タルベキコト及（ホ）規約第八条軍備ノ情報交換ニ閔スル件ニ付報告アリ右ノ内（ロ）國際水路局創設ノ問題ハ書記局ニ於テ研究ノ上次回迄ニ報告スルコトナリタル外全部軍事委員会ノ報告通り可決セラル

（二）一九一〇年十一月十二日独逸「ダンチヒ」間ノ協約ニ基キ「ダンチヒ」自由市ハ現ニ多數ノ独逸官吏ヲ使用シ居ル处本年七月一日ヲ限り現状ヲ打破スルコトヲ決議ス
本期理事会ノ議事録ハ聯盟國ニ通報サルルト同時ニ公表スベキコトヲ議決ス
在歐米各大使及在白公使ヘ転電セリ

註 第十二回理事会ハ三月四日前ノ第十八回会合ヲ最終会合ト
△閉会セラレタ

七〇 五月二十日 在仏國石井大使ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

聯盟規約第一十一條ノ一定地域ニ閔スル了解

第七五七号

（五月二十一日接受）

六九 四月一日 在仏國石井大使ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

一一 國際聯盟理事會ニ閔スル件（第十二回乃至第十五回） 六九 七〇

五九

第十三回聯盟理事會ハ六月十七日「ヤネヴァ」ニ開催セラ
ルベク同議題及ビ報告書左ノ通り

〔一〕「ダ・ンチヒ」憲法防備其他關係諸問題（日本代表）

〔二〕「ダ・ル」行政ニ対スル独逸抗議數件（支那）

〔三〕「ハ・ン・ラ・ン・ド」及「アルバニア」ノ少数民族（英）

〔四〕「オーラン・ド」問題委員會報告（伊）

〔五〕波「ラ」紛争「アラ・ッセル」會議報告（白）

〔六〕「マ・ン・ダ・ー」（A式）（白）

〔七〕「マ・ン・ダ・ー」（A式）（白）

〔八〕國際水路局其他諸國際事務局（仏）

〔九〕一九二二年予算及一九二〇年七月一日以降十一月三十日

日期決算審査報告（支那）

〔十〕交通會議報告（西）

〔十一〕財經恢復委員會及保健準備委員會報告（仏）

〔十二〕規約委員會予備報告（英）

〔十三〕阿片委員會報告（支那）

〔十四〕聯盟及勞動事務局能率審查委員會報告（支那）

〔十五〕國聯盟予算分擔率研究委員會報告（伯刺西薩）

〔十六〕諸經過報告（事務總長）

七一 六月十八日 在ジ・ヤ・ネ・ガ・石井聯盟理事會代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第十三回理事会ニ於テ A式及B式委任統治問 題ハ討議延期トセハ・レタル件

第四号 （六月一十五日接受）

最近 Drummond 本使ヲ來訪シ今期理事會日程中A及B「マ・ン・ダ」問題ハ英仏両國政府共之ヲ欲セザルニ付討議延期ノコト致シタキ旨ヲ述ベタルニ付本使之ニ同意シ置キタル次第ハ巴里ヨリ電報ノ通リナル處其ノ後 Da Cunhaヨリ前回ノ理事會ハ北米合衆國ノ申告ニ鑑ミ特ニ委任統治問題ノ討議ヲ延期シ理事會ニ米國代表者ノ派遣ヲ求メタルモ米國政府ヨリハ今ニ何等ノ回報ナク傍々今回ノ理事會ニ

TOKIO
No. 28. Yokohama, le 22 Juin 1921.
Monsieur le Ministre,

D'accord avec des instructions reçues, j'ai l'honneur de porter à la connaissance de Votre Excellence que, le Gouvernement de Sa Majesté attache la plus haute importance à obtenir que, à la prochaine Assemblée du Conseil de la Société des Nations l'Espagne soit reconnue comme "Membre Permanent du susdit Conseil".

Je saurai gré à Votre Excellence, si, tout en considérant l'importance de l'Espagne, tant par sa tradition, comme par sa signification politique actuelle, Elle voudrait bien donner des instructions précises au Représentant officiel du Japon, au Conseil de la Société des Nations, afin qu'il appuie l'opinion de Votre Excellence, que je ne doute, soit favorable et d'accord avec le désir exprimé par mon Gouvernement.

Veuillez agréer, Monsieur le Comte, les assurances de ma plus haute considération.

四二 六月二十一日 在本邦西國公使ヨリ
内田外務大臣宛

西國ガ次回理事會ニ於テ委任理事國ニハト認

メハルル様配慮方懇請ノ件

LEGACION DE ESPAÑA

11 國際聯盟理事會ニ閲スル件（第十五回乃至第十五回）

七二

七三

(Signé) José Caro

Son Excellence

Monsieur le Comte Y. Uchida,

Ministre des Affaires Etrangères.

右訓令トシテ在英大使ニ又参考トシテ在西公使ニ転電アリ度シ

七三 七四

内田外務大臣（ヨリ） 在仏國松田臨時代理大使宛（電報）

七四 六月二十七日 在仏國松田臨時代理大使（ヨリ） 内田外務大臣宛（電報）

西国ガ聯盟理事会ニ於テ常任理事國トシテ指 定セラル様我方ノ支持ヲ得度旨同國公使印

リ申出ニ付英仏両政府ノ意向回電方訓令ノ件

第五九六号

今般在本邦西班牙公使ヨリ聯盟理事會ニ常ニ代表者ヲ出スヘキ聯盟國トシテ西班牙國ヲ指定方ニ闕シ次回理事會ニ於テ帝國ノ支持ヲ得度旨申出アリ右申出ハ多分規約改正委員會ノ決議ニ基因スルモノト見受ケラル處白耳義及伯刺西爾等ノ地位ニモ自然關係アルノミナラズ本件ノ如キ一般的ニ亘ル重要問題ニ付テハ各國トモ成ルヘク同様ノ態度ニ出ヅルヲ必要ト認ムルニ依リ予メ英仏両國政府ノ意向承知致度至急西國公使ニ回答ノ都合アルニ付貴見ト共ニ御回電アリ度シ

第九六七号

（六月二十九日接受） 往電第八八六号ニ闕シ

委任統治問題ニ闕シ理事會議長ヨリ主要聯合國宛書簡ノ要旨報告ノ件

理事會議長ヨリノ主要聯合國六月十五日附書簡要旨左ノ通り

來ル十七日開会ノ理事會ニ於テ A式B式委任統治問題ノ上程ヲ見ルコトト成リタル処（往電第七五七号参照）元來本問題ハ本年二月ノ理事會ニ於テ討議セラル可カリシモ米國ノ抗議アリシ為メ遂ニ延期セラレタルモノニシテ理事會ハ米國ノ提議ニ係ル本問題ヲ以テ聯盟自身ノ闕スル所ニ非ズシテ寧ロ主要聯合國商議ノ問題タル可キモノトスルノ意見ヲ保持セリ蓋シ從前ノ統治權ヲ離レタル殖民地及領土ハ聯盟自体ニ譲渡セラレタルモノニ非ザルガ上ニ被委任統治國ガ決定的ニ受任國ニ割り振ラレ其委任統治條項ガ理事會

ノ一致ヲ見依テ以テ理事會ヲシテ其責ヲ尽スヲ得セシムルヲ繫要トスト思考ス
在歐米各大使ヘ郵報セリ

七五 六月二十八日

内田外務大臣（ヨリ） 在本邦西國公使宛

西国ガ次回理事會ニ於テ常任理事國ト認メラル様日本ノ支持ヲ得度旨ノ申越ニ対シ回答

ノ件

和一機密第二一号

以書翰致啓上候陳者本月二十二日附第二十八号及同二十三日附第二十九号貴翰ヲ以テ貴國政府ニ於テハ聯盟理事會ニ常ニ代表者ヲ出スヘキ聯盟國トシテ西班牙國ヲ指定方ニ闕シ聯盟理事會ノ次回會議ニ於テ帝國ノ支持ヲ得度旨貴國政府ノ訓令ニ依リ御申越相成致領承候本件ハ重要ナル問題ナルヲ以テ篤ト考慮可致ニ付右ニ御承知相成度右不取敢回答申進旁本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

理事会ヘ其任務遂行ヲ可成速カニ為シ得ル様本件ニ闕シ主要聯合國ニ於テ支持ヲ与ヘラルレバ幸甚ナリ尚ホ理事会ハ

次ノ聯盟總会前ニ主要聯合國ト米國トノ間ニ完全ナル意見

三 國際聯盟理事會ニ闕スル件（第十二回乃至第十五回）

七五 七六

露國避難民問題ノ報告委員アノトーヨリ本問 在ジュネーヴ石井聯盟理事會代表ヨリ 在田外務大臣（ヨリ）

六三

題ノ衝ニ当ルベキ高級委員選出ニ閔シ理事会

二提案ノ件

(七月一日接受)

第一〇号

露国避難民ニシテ世界各方面ニ流浪スルモノ約二百万ヲ算スルモ其内目前救濟ノ要アルモノ約二十万アルトノコトニテ「ウラングル」残党救濟ニ手ヲ焼キタル仮國政府ハ露國人中此問題ニ奔走スルモノアルヲ利用シ之ヲ列国救濟ノ問題トシ遂ニ今回理事会ニ現ハレ來リタルガ本件報告員タル「アノトー」氏ハ威望高キ有為ノ一人ヲ理事会ニ於テ高級委員ニ選ビ本件ノ衝ニ當ラシムルノ議ヲ提出シ通過セリ本件ニ付当初本使ガ「アノトー」氏ニ對シ本件ハ莫大ナル資金ヲ要ス巨額ノ資金ヲ集ムルノ如何ニ困難ナルカハ波蘭「チフス」問題ニテ辛キ経験ヲ得タル所ナルヲ指摘セルニ

「ア」氏ハ「ブレスト、リトウスク」條約ニ依リ露ヨリ独立モヒタル金額ハ英仏ニ供託シアルヲ以テ之ヲ資本ニ充ツルモ可ナリト述べタルコトアリシガ其後「ア」氏ハ右供託金ノコトヲ口ニセズ只六百万法ト三百万法ノ一口ノ露国預金アルニ付不取敢之ヲ使途ニ充ツベキ旨ヲ述べ不思議ニ感ゼラレシニ或露人ヨリ聞ク所ニ依レバ右英仏ニ於ケル供託

金ハ英仏政府対米借款ノ支払ニ向ケラレ今ヤ残余ナシト云

フ「ア」氏ハ供託ノ事實ヲ聞キ其後ノ成行ヲ知ラズシテ本使ニ内話セル處後ニ至リ本国政府ヨリ成行ヲ知リ口ヲ閉セ

ルニ至レルモノカト思ハル尚来ル九月一日ヨリ開会ノ理事会ニ於テ愈々本件委員ノ任免等附議セラルベキニ付日本ニ於ケル露国避難民ノ状況及旧露国政府資金ニシテ横浜某銀行ニ預金トナリ居ルモノアラバ其金額御電報アリタク尤モ露国資金供託ニ閔スル露国人ノ言説ハ一々信ジ難キヲ以テ日本ニ閔スル分モ一般ノ風説ニ過ギザルヤモ知レズ

七七 六月二十九日 在ジユネーヴ石井聯盟理事會代表ヨリ

内田外務大臣宛(電報) 今回ノ理事会ハ聯盟ノ威信ヲ回復セリトノ印

象報告ノ件

第一二号

(七月一日接受)

今回ノ理事会ハ問題ノ多數ナルコト及其性質ノ重大ナルコトニ於テ未曾有ト評セラル重大ナル問題ハ主トシテ「アーランド」「ダンチヒ」「ヴィルナ」「アルバニア」等ナリ此等ノ問題ハ從来係争國間ノ感情非常ニ興奮シ居レルガ為理

事会ニ於テ妥協点ヲ見出ス能ハズ已ムヲ得ズ戰爭ノ開始ヲ予防スル手段ヲ取リツシ解決ヲ遷延シ来リシ為世間往々理事会ノ優柔不断ヲ責ムルモノアルニ至レルガ今回ハ予テ各理事間ニ議ヲ固メ屢々公会ヲ開キ規約第十五条ニ依ル係争國ヲ除ケル全会一致ノ義ヲ公然表明シ決議又ハ勸告ヲ決定断行セル為輿論ハ理事会ガ今迄ニ無キ活動ヲ為シ威信ヲ回復セリトナスモノ多シ反対ノ御訓令ナキ限り各問題報告ハ書面ニ依ル

七八 七月一日 在ジユネーヴ石井聯盟理事會代表ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

英國理事代理フィシャーヨリ委任統治条項ヲ

米國ニ内示ニ付同意ヲ求メタル件

第一五号

(七月二日接受)

六月二十四日午後理事会開会前英國理事代理「フィシャー」氏ハ非公式ニ「英國政府ハ委任統治条項ヲ米國政府ニ

内示シタキニ付理事会同僚ノ同意ヲ求ムベシ」トノ訓令ヲ受ケタリトテ右同意ヲ得タシト申出デタリ本使ハ米國政府ニ内示セラレタキ委任統治条項トハ(A)式及(B)式ニ限リ既ニ理事会ニ於テ決定ヲ經タル(C)式ニ関係ナシト思考スルガ如

ニアルコトヲ承認ス

三 國際聯盟理事会ニ閔スル件(第十二回乃至第十五回)

七八 七九

第一〇四四号

(七月十一日接受)

露国避難民救濟ニ閔シ聯盟事務總長ヨリ七月七日附ニテ大

要左ノ通り總理大臣宛書面ヲ送附シ來レリ回答期日切迫シ

居レルニ付至急何分ノ御訓令ヲ乞フ

去ル六月二十七日聯盟理事会ハ露国避難民問題ニ閔スル各

國政府ノ回答ヲ審議シ且ツ仮國代表「アノトー」氏ノ報告ヲ聽取シ全会一致ヲ以テ左ノ決議ヲ為セリ

(+) 理事會ハ該避難民ノ激増問題ヲ解決スル最善ノ方法ハ合
法ニ選出セラレタル最高委員ニ各國政府若クハ各國ニ於
ケル私の機關ノ為シタル措置ヲ統一スルノ任務ヲ授クル

六五

(二)右最高委員ノ選任ニ先ダチ予メ避難民問題ノ解決ニ関連シテ發生スペキ政治、法律上ノ諸問題ヲ研究スルヲ要スルヲ以テ事務局ハ至急右諸問題ノ研究ニ着手スペク依テ事務局ハ各國私的団体ノ活動ヲ統一シ且ツ各國政府ニ対シ必要ノ報道、書類ノ提供ヲ求ムベシ

(三)最後ニ各國政府間ノ統一ヲ確実ナラシメンカ為メ聯盟事務局ハ最近ノ時機ニ於テ避難民ニ関係ヲ有スル各國政府ノ官吏ニシテ特ニ本問ヲ執掌セルモノノ會議ヲ開催シ依ベシ

四)理事会ハ場合ニ依リ次回開会迄ノ間議長ニ他ノ理事會員ト協議シテ最高委員ヲ選任シ且ツ其部下ノ各員ヲ任命スルノ權限ヲ附与ス

前記理事会ノ訓達ニ基キ聯盟事務局ヘ七月二十一日迄ニ日本政府ニ於テ避難民問題ニ直接利害關係ヲ有セラルルヤ並ニ第三項記載ノ會議ニ参加スルノ希望ヲ有セラルルヤ否ヤニ付回答セラレンコトヲ希望スルモノニシテ日本政府參加ノ場合ニ於テハ同政府ガ如何ナル形式ノ下ニ問題ノ解決ニ資スルヲ肯ゼラルベキヤニ関シ其代表者ヲシ

テ會議ニ於テ説明セシメラレ度ク同時ニ本問ニ閔スル政府ノ經驗ニ付出來得ル丈ヶ多クノ書類ヲ提出セシメラレタシ

八〇 七月十一日 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

委任統治ノ受任諸國ノ行政報告ヲ常設委員會ニ提出セシムル様理事会決議ノ件

第一〇五四号

（七月十四日接受）

六月二十七日附聯盟事務總長ヨリノ帝國首相宛書簡要旨左ノ通リ

密年一月十八日ノ聯盟總会ハ理事会ニ對スル希望トシテ理事会ガ委任統治ノ受任諸國ヲシテ其ノ委託地域最近ノ行政報告ヲ常設委員會ニ提出セシムベキ様勸誘スベキ旨ヲ議決セリ理事会ハ右希望ヲ本年六月二十一日ノ同會議ニ付シ次ノ決議ヲ採用セリ即チ

事務總長ハ既ニ理事会ニ於テ決定シタル委任統治ノ受任諸國並ニ委任セラルベキ地域ノ行政ヲ管掌スル諸國ニ對シ之等諸國ガ成ルベク總会前ニ右地域最近ノ行政報告ヲ提供シテ以テ事務總長ヲシテ常設委員會ニ之ヲ送付スルコトヲ得

セシムベキ様懇意スベシ

右ニ基キ本總長ハ日本ノ受任地域タル赤道以北ノ太平洋旧獨領地ニ關シ日本政府ヨリ本件報告ヲ提出セラレンコトヲ要請ス

全文郵送ス

尚右二十一日ノ理事会ニ於テ仏國代表

Hanoteaux ハ理事会ニ於テ Mandat ヲ決定セザル間受任

國タルベキ國ニ對シ聯盟報告ヲ求ムルノ權ナシ但シ右未定

ノ間ト雖モ仏國政府ハ其ノ統治報告ヲ公表スペント述べ英

國代表 Fisher モ仏國代表ノ説ニ賛シ英國報告ヲ公表スペ

キヲ以テ該報告ハ聯盟（脱）載セラルベシト述べタリ即チ前記理事会ノ決議ハ之ガ留保ノ下ニ採用セラレタルモノナリ

八一 七月十三日 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

西國ノ聯盟理事會常任代表希望ニ閔シブリア

ノ内話ノ件

第一〇七一号

（七月十六日接受）

理事会永久代表ニ關スル西班牙ノ希望ニ對シ十三日會見ノ際「ブリアン」氏ハ右希望カ西班牙ニ限ラレ白耳義「セル

三 國際聯盟理事會ニ閔スル件（第十二回乃至第十五回） 八一

八一 八二

露國避難民救助問題ニ閔シ「プリンス、ルボフ」來話ニ依レハ露國各國ハ高級委員トシテ米國赤十字社重役「コロネル、オルツ」ヲ候補者トシテ推薦シ仏國政府ハ賛成ナリト言フ本使ハ米國人ヲ委員トスルハ賛成ナルモ自分ノ知ラザル人ナレバ贊否ヲ言フ能ハズトシテ留保シ置ケリ本件ニ関シテ閣下方推薦セラルル人アラバ御指名ヲ請フ

八三 八月十三日 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第十四回聯盟理事會議題ニ闕スル件

第一二七六号 （八月十五日接受）

来ル九月一日ヨリ開会セラルベキ第十四回理事會議題左ノ通リ

- 第一、一般問題
- 一 「A式」及「B式」委任統治条項ノ決定
- 二 規約第十八条委員會報告
- 三 「オーランド」島中立ニ闕スル會議ノ招集
- 四 波蘭「リスアニア」紛争
- 五 露国避難民
- 六 伝染病委員會報告
- 七 知的労働國際機関ニ闕スル報告
- 八 「アルバニア」政府來翰
- 第二、専門機關
- 九 保健板委員會報告
- 一〇 婦人小兒売買會議報告
- 一一 交通委員會一般報告

第六、財政問題

- 一二 「サルバドル」政府來翰
- 二三 聯盟財政ニ闕スル諸規定
- 二三 千九百二十一年予算内流用ノ件
- 第七、其他事務局員任命等

註 第十四回聯盟理事会ハ八月三十日乃至九月三日並九月十一日乃至十月十二日ジユネーヴニ於テ開催セラレタリ

八四 八月十八日 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

報告提出間ニ合フ場合ノ議題追加ニ闕スル件

第一三〇二号

（八月二十日接受）

往電第一二七六号ニ闕シ

左記事項其報告提出間ニ合フトキハ次回理事会ニ於テ審議セラルベシ

第一、一般問題

- (一) 規約改正委員會報告
- (二) 軍備縮少委員會報告
- (三) 國際封鎖委員會報告
- (四) 売洪國臣民財產清算

三 國際聯盟理事會ニ闕スル件（第十二回乃至第十五回）

八四 八五

ノ件

八五 九月十三日 在ジユネーヴ聯盟總會代表ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

九月十二日ノ理事會ニ於テ婦人小兒會議最終
議定書常設委員會構成及本條約案ニ闕シ討議

a 專門機關ノ予算ノ決議
b 「バルセロナ」條約署名ニ闕スル決議
c 理事會ノ移牒ニ係ル「バルセロナ」會議希望条項ニ
対スル処置

一二 「ダニューブ」流域行政委員會議長ノ任命
一三 「ダニユーブ」沿岸國ニ闕スル理事會勸告ノ結果
一四 「ザール」流域ヲ発送地又ハ目的地トスル鐵道ニ依ル運送

一五 「ザール」行政委員會仏國委員臨時代理者任命臨時
議長任命

一六 同行政委員會「ザール」委員任命
第四、「ダンチッヒ」

一七 自由市ニ於ケル波蘭人ノ創立的地位

一八 「ダンチッヒ」国籍ノ取得及喪失ニ闕スル法律案
第五、少數民族

一九 「アルバニア」及芬蘭少數民族
二〇 羅馬尼條約中少數民族保護ノ規定ニ闕スル聯盟ノ保障

第七五号 （九月十四日接受）

石井大使ヨリ
往電第二〇号ニ闕シ

九月十二日ノ理事会ニ於テ報告者英國代表「フィッシュヤ」ハ結論トシテ

一、婦人小児會議最終議定書ヲ承認スルコト
二、仏往電第一〇五五号希望条項（十一）常置委員ヲ設ク
ルコト（其ノ構成ノ為代表者ヲ送ル國トシテ仏、丁抹、
智利、英、日本及独、奧、「チエッコスロヴァキア」ノ
内一国ヲ挙ゲタリ）

三、英國提出條約案ヲ最終議定書ト共ニ總会ニ移牒シ之ヲ
今会期中ニ調印センコトヲ勧告スルコト

ノ三点ヲ主張セルガ第一点ニ付テハ異議ナク第二点委員会
構成ニ關シ「ブラジル」伊國ニ異議アリ右委員數ヲ増加ス
ベキヤ否ヤヲ研究スル為右審議ヲ延期スルコトニ決シ第三
点ニ闕シテハ

一、右條約案ガ英仏専門家協力シテ成立セルモノナルコト
二、右條約ハ最終議定書ニ字句ノ変更ヲ加ヘタルモノニ過
ギザルコト

八六 九月二十一日 在ジユネーヴ聯盟總会代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
九月十九日ノ理事会ニ於ケル「リ」波紛争ニ
関スル折衷案ノ討議及同日午後ノ總会ニ於ケ
ルリスニア聯盟加入許可ノ件

第九七号 （九月二十四日接受）
石井ヨリ

十九日理事会ニ於テ波蘭「リスニア」係争問題ヲ議シ兼
テ各理事ノ間ニ内定セル折衷案ヲ報告委員「イーマンス」
ヨリ提出セルニ對シ「リ」國代表ハ妥協的態度ヲ示シタル

モ波國代表ハ強硬ナル異議ヲ申出デ議遂ニ決セズ散会シタ
リ昨二十日早朝秘密会ニ於テ各理事ハ右折衷案ヲ理事会ノ
勸告トナスニ決シ直チニ公開理事会ヲ開キ波「リ」兩代表
ヲ参加セシメ一二討論ノ後右折衷案ヲ理事会全会一致ノ
(係争者ヲ除ク) 勸告ト宣言シ尚本件顛末ヲ「イーマン
ス」ヲシテ總会ニ説明セシムルコトニ決セリ

同日午後總会第六委員会ニ於テ是迄握リ置キタル「リスマ
ニア」ノ聯盟加入請求問題ヲ公会ニ於テ議シ英仏初メ從來
留保ノ態度ニアリタル諸國ハ拳テ他國ノ委員ニ共鳴シ「リ」
國ノ加入承諾説ヲ述べ波蘭委員独リ奮闘シタルモ遂ニ大多
數ヲ以テ加入許可ニ決セリ波國ガ南ハ「ウクライナ」ヲ侵
シ北「ウイルナ」ヲ占領シ「ダンチヒ」ヲ圧倒シ西「シレ
ジヤ」ヲ争フ等終始侵略政策ニ出ヅルコト漸ク列國ノ嫌忌
スル所トナリ本件ヲ總会ニ曝露シテ波蘭ニ威圧ヲ加フルノ
魂胆暗黙ノ間ニ決セラレ「リ」國加入ハ其ノ第一手段トシ
テ採ラレタルモノナリ

在米大使ヘ転電在歐各大使ヘ郵報セリ

八七 九月二十八日 在ジユネーヴ聯盟總会代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

三 國際聯盟理事會ニ闕スル件（第十二回乃至第五回）

八七 八八

聯盟理事增員問題ニ闕シ伯國理事強硬主張ノ件
第一三〇号

（十月二日接受）

八八 九月三十日 在ジユネーヴ聯盟總会代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

石井ヨリ

往電第一一八号ニ閲シ常任理事トシテ西班牙ヲ推スコト
英、仏、日、伊、白等ノ理事間ニ内定セラレ二十五日晚理
事会秘密会ヲ開キ前日議定ノ事項ノ決議文ヲ議題トシ規約
第四条ニ依リ新任理事国トシテ西班牙ノ名出ヅルヤ伯刺西
爾理事「ワアデタマリス」懷ヨリ長文ノ覚書ヲ出シ朗読セリ
其要旨ハ人口一億五千万ニシテ二十五ヶ国ヨリ成レル歐州
カ既ニ三名ノ常任理事ヲ出シハケ国ヨリ成レル亞細亞カ一
名ノ常任理事ヲ出スニ対シ人口二億ヲ越エ十八ヶ国ヨリ成
ル亞米利加ヨリ一名ノ理事ヲモ出サズルニ今常任理事増員
ニ際シ重ネテ亞米利加ヲ除キ歐州ヨリ之ヲ出サントスルノ
理由ナン強ヒテ伯刺西爾トハ云ハザルモ今日増員スヘキ一
名ノ常任理事ハ是非共南米ヨリ出スコトヲ飽迄主張スヘシ
トノ本國政府ノ確定訓令ニ接シタリトテ何處迄モ其主張ヲ
枉ゲズ斯クテ種々意見ヲ交換シタルモ議遂ニ纏ラズ散会ト
ナリ二十九日午後理事会ハ再ヒ秘密会ヲ開キタルガ伯刺西
爾ハ遂ニ意ヲ枉ゲズ非常任理事ヲ五名トシ常任理事増員ヲ
二名トセソコトヲ提議シタルモ斯クテハ理事ノ數多キニ過
ギ全会一致ヲ以テ議事ヲ進行スルコト困難トナルヘシトノ

名ノ常任理事ハ是非共南米ヨリ出スコトヲ飽迄主張スヘシ

トノ本國政府ノ確定訓令ニ接シタリトテ何處迄モ其主張ヲ

枉ゲズ斯クテ種々意見ヲ交換シタルモ議遂ニ纏ラズ散会ト

ナリ二十九日午後理事会ハ再ヒ秘密会ヲ開キタルガ伯刺西

爾ハ遂ニ意ヲ枉ゲズ非常任理事ヲ五名トシ常任理事増員ヲ

二名トセソコトヲ提議シタルモ斯クテハ理事ノ數多キニ過

ギ全会一致ヲ以テ議事ヲ進行スルコト困難トナルヘシトノ

在米大使ニ転電シ 在歐州各大使ヘ郵送セリ

八九 十月一日 在ジュネーヴ聯盟總會代表ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

聯盟理事增員問題ニ關シ理事会秘密会ニ於テ

討論ノ件

第一三八号 （十月三日接受）

石井ヨリ

第一三八号 在米大使ニ転電シ 在歐州各大使ヘ郵報セリ

第一四〇号 在米大使ニ転電シ 在歐州各大使ヘ郵報セリ

多數ノ意見ニテ殊ニ仏國理事ノ如キハ理事会ニ於ケル常任
理事非常任理事間ノ權衡ヲ見ルコト必要ナルノミナラズ主
要聯合國ト其他ノ國トノ權衡ヲモ考ヘザルベカラズトテ伯
刺西爾案ニ反対シ本使モ亦我政府ハ可成現状維持ヲ欲スル
モ已ムラ得ザル事情アレバ極メテ少數ノ増員ニ同意シ差支
ナシトノ權限ヲ本使ニ与ヘタル迄ナレバ本使ハ伯刺西爾案
ニ賛成スルコト困難ナリト述べ伯刺西爾案ノ撤回ヲ希望シ
次テ「バルフォア」氏ハ強ク伯刺西爾理事ニ妥協ヲ迫リ聯
盟ハ死ニ瀕セリト迄呼ヒタルモ伯刺西爾理事ハ其主張ガ伯
刺西爾ノ為ニ非ズ南米全体ノ熱望ヲ公表スルモノナリトテ
遂ニ讓ラズ斯クテ今日モ亦流会トナリ明三十日更ニ秘密会
ヲ開クコトトナリ

在米大使ニ転電シ 在歐州各大使ヘ郵送セリ

第一三八号 在米大使ニ転電シ 在歐州各大使ヘ郵報セリ

九一 十一月十七日 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）九三 十一月十九日 在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

第十五回理事会即チアルバニア及セルビア間
紛争ニ闕スル特別理事会開催ニ至リタル経緯

ノ件

第一六三七号 (十一月十九日接受)

「セルビア」軍ノ「アルバニア」北境侵入ガ國際平和ヲ攪乱スルノ恐アルニ鑑ミ英首相ハ聯盟規約第十一條ニ基キ速カニ理事会ノ招集ヲ求メ本件處理方ヲ考察スルト同時ニ若シ「セルビア」國政府カ規約上ノ義務ヲ履行スルコトヲ拒ミ又ハ遲延スル場合ニ規約第十六條ニ基キ聯盟カ取ルベキ手段ヲモ併セテ決定セムコトヲ聯盟ニ求メタル結果特別理事会ヲ十六日巴里ニ招集スルコト成リ同日ノ會議ニ於テ打合ノ結果十七日午前公開會議ニ於テ英國ノ意見並「セルビア」及「アルバニア」ニ闕スル代表ノ説明ヲ聽取スルコトニ決セリ

註 第十五回聯盟理事会即チアルバニア及セルビア間紛争ニ闕スル特別理事会ハ十一月十六日ヨリ十九日ニ亘リ連日巴里ニ於テ開催セラレタリ

第一六四六号 (十一月二十一日接受)
往電第一六三七号ニ闘シ

其ノ後十七日午前十八日午後十九日午前ニ三回ノ公開理事会アリ英國理事「フィッシュヤー」ハ「アルバニア」ノ聯盟ニ対スル愁訴新聞紙ノ報道及英國領事報告ヲ呈示シテ所謂休戦境界線ヲ超エテ「アルバニア」ニ進入スル塞耳比軍ノ行動ハ頗ル英國政府ノ憂慮シタル所ニシテ之ガ為規約第十一条ニ基ク責務トシテ理事会ノ招集ヲ要求シタリト述べ塞耳比代表ハ其ノ軍隊ガ嘗テ右ノ線ヲ超エタルコトナク其ノ「アルバニア」軍トノ衝突ハ毎々相手方ノ挑戦ニ基クモノナルコトヲ述べ大使會議ノ國境劃定ニハ手続上抗議ヲ呈スルモ兎ニ角其ノ定メタル國境以内ニ兵ヲ撤スベシト声明シ「アルバニア」代表ハ塞耳比軍ノ断エザル入境及内乱煽動ノ事績ヲ叙シテ為ニ經費七百万法ヲ要シ百五十ヶ村ハ荒廃

ニ帰シタリト云ヒ塞耳比代表ノ声明ニハ満足ヲ表スルモ将来ノ保障トシテ係争國及聯盟ノ代表者各一名ヨリ成ル委員會ヲ組織シ以テ「アルバニア」ノ國境ヲ監視セシメタシト

述べ理事会ハ塞耳比代表ノ声明ニ満足シ之ヲ正確ニシタル次ノ決議ヲ満場一致採用シ十九日散会シタリ

理事会ハ「アルバニア」塞耳比間ノ紛争ニ付特別會議ヲ要求シ（脱）ニ闘スル「アルバニア」塞耳比代表ノ説明ヲ聽

取シタル後大使會議ノ劃定セル國境ハ聯盟規約ノ保障ヲ受クルモノナルコトヲ考慮シ塞耳比首相ガ國境以内ニ其ノ兵ヲ撤スル旨ノ声明及両係争國ガ友好關係ヲ持続シ瓦ニ内乱ヲ煽動スルガ如キコトナカル可キ旨ノ保障ヲ諒トシ十月六

日ノ總会ノ決議ニ基キ「アルバニア」ニ派遣スベキ調査委員ニ次ノ訓令ヲ与フルコトヲ決議ス

(一)調査委員ハ十一月十八日附大使會議ノ決定ニ示サレタル暫定中立地帶ヨリ塞耳比及「アルバニア」軍隊ノ撤退ニ関シ理事会ニ報告ヲ提出スペシ右委員ハ國境劃定委員ト連絡ヲ保チ撤兵ヲ容易ナラシムル為地方官憲ニ助力ヲ与フベシ

(二)調査委員ハ「アルバニア」ノ内乱ニ対スル外部ノ援助ナキコトヲ確保シ現在ノ紛乱ヲ永久ニ終熄セシムル手段ヲ理事会ニ建議ス可シ

在歐米各大使ヘ転電セリ